

2020年度 活動報告(第14期) 2020年4月1日～2021年3月31日まで

I. 本年度の活動(一般)

日時	名称	対象	参加	場所	事業	
2020年						
4	20	第137回 理事会	理事・顧問	18	大津港 会議室	8
5	7	第138回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
	24	総会	会員・一般	5	大津港 研究室	8
6	26	第139回 理事会	理事・顧問	22	大津港 会議室	8
7	28	第140回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
8	4	びわ湖トラスト親子環境学習講座 湖岸調査	一般親子	32	O'PAL (大津市雄琴)	4
	7	びわ湖トラスト親子環境学習講座 megumi に乗船	一般親子	16	琵琶湖 (大津港発着)	4
	19	びわ湖トラスト親子環境学習講座 megumi に乗船	一般親子	11	琵琶湖 (大津港発着)	4
	23	びわ湖トラスト親子環境学習講座 ブライアンに学ぶ写生	一般親子	26	堅田(道の駅びわ湖大 橋米プラザ)	4
	31	第141回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
9	19	びわ湖トラスト親子環境学習講座 トチノキ観察会	一般親子	12	朽木 (高島市)	4
	25	第142回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
10	1	びわ湖岸マスクゴミ事前調査	理事	2	びわ湖東・西岸	2
	2					
	3					
	27	第143回 理事会	理事・顧問	20	大津港 会議室	8
	—	トラストたより発刊第21号	会員	—		6
11	3	琵琶湖漂着ゴミの回収と分別調査	ジュニアドクター 育成塾受講生等	45	マキノ	2
	7	びわ湖トラスト親子環境学習講座 トチノキ観察会	一般親子	11	朽木 (高島市)	4
	19	第144回 理事会	理事・顧問	21	大津港 会議室	8
12	22	第145回 理事会	理事・顧問	23	大津港 会議室	8
2021年						
1	29	第146回 理事会	理事・顧問	18	大津港 会議室	8
2	23	エフピコ Zoom 工場見学	会員・ジュニアドクター 育成塾受講生	33	エフピコ 中部リサ イクルセンター	4
	24	第147回 理事会	理事・顧問	21	大津港 会議室	8
3	27	第148回 理事会	理事・顧問	19	大津港 会議室	8
	—	トラストたより発刊第22号	会員	—		6

* ジュニアドクター育成塾については、年間通じて活動したため次頁に記す。

本年度の活動（ジュニアドクター育成塾）

日時	期	講座	テーマ・内容	講師	参加	会場	
2021年							
5	17	1,2	座学 ガイダンス 生物倫理	今井 一郎 (北海道大学)	13	コラボしが2 1	
		3			動物実験倫理及び今後の方針	中島 拓男 (びわ湖トラスト)	14
	24	1,2	座学	私達の生活と関わりのある琵琶湖の生き物	桑原 雅之 (琵琶湖博物館)	16	研究室
6	7	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	9	研究室
		3	座学	びわ湖と生物	中島 拓男	21	コラボしが2 1
	14	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	8	研究室
	21	1,2	船上	第1回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	5	はっけん号
	28	3	座学	びわ湖の流れと地球の自転	吉川 裕 (京都大学)	20	コラボしが2 1
7	5	1,2	座学	琵琶湖水系に生息するピワマスとアマゴの関係	桑原 雅之	5	研究室
		3	船上	びわ湖の流れを調べよう	吉川 裕	6	はっけん号
	12	1,2	座学	堆積物情報	柏谷健二 (金沢大学)	9	研究室
	19	1,2	船上	第2回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
		3	座学	湖底から湖の環境を考える	石川 俊之 (滋賀大学)	17	コラボしが2 1
	26	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る 1	柏谷 健二		コラボしが2 1
8	2	1,2	座学	生物時計 1	西村 洋子 (龍谷大学)	8	研究室
		3	船上	びわ湖のプランクトンを観察しよう	今井 一郎	5	はっけん号
	8	全	座学	ソーラーボート合宿	熊谷 道夫・青田 容明 (立命館大学/びわ湖ト ラスト)	42	高島市
	9	クラス					
	10	抽選					
	23	1,2	座学	生物時計 2	西村 洋子	7	研究室
		3	野外	河川の魚観察	桑原 雅之 桑原 明大 (ラーゴ)	16	和邇公園
	30	1,2	船上	第3回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
3		座学	地球生態系とプランクトン	伴 修平 (滋賀県立大学)	18	コラボしが2 1	
9	6	1,2	座学	ウイルスから恐竜まで～生物の進化の歴史 1	君付 龍祐 (アルバータ大学)	9	研究室
	13	1,2	座学	ウイルスから恐竜まで～生物の進化の歴史 2	君付 龍祐	8	研究室
		3	船上	びわ湖の水質を調べよう	杉山 雅人 (京都大) 中島 拓男	6	はっけん号
	20	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る 2	柏谷 健二	16	コラボしが2 1
	27	3	座学	びわ湖の水質の季節変化	杉山 雅人	19	コラボしが2 1

10	4	1,2	座学	数理モデルってなんだろう？ 1	三木 健 (龍谷大学)	11	研究室
		3	船上	びわ湖の生き物を調べよう	石川 俊之	6	はっけん号
	11	1,2	座学	数理モデルってなんだろう？ 2	三木 健	7	研究室
		3	座学	びわ湖の水質・藻類の移り変わり・要因について	岸本 直之 (龍谷大学)	13	コラボしが2 1
	18	1,2	船上	第4回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号
25	3	座学	水環境の問題と水処理技術	畠平 智子 (東レ)	15	コラボしが2 1	
11	1	1,2	座学	環境 DNA 1	山中 裕樹 (龍谷大学)	9	研究室
		3	船上	びわ湖の生き物を調べよう	伴 修平 (滋賀県立大) 後藤 直成 (滋賀県立大) 中島 拓男	6	はっけん号
	15	1,2	座学	環境 DNA 2	亀甲 武志 (近畿大学)	8	研究室
		3	座学	生物の持つリズム 1	西村 洋子	17	コラボしが2 1
	29	1,2	船上	第5回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	5	はっけん号
3		座学	生物の持つリズム 2	西村 洋子	16	大津公民館	
12	6	1,2	座学	ヒトの体の仕組みに驚こう 1	藤井 達哉 (滋賀県立 小児保健医療センター)	9	研究室
	13	1,2	座学	ヒトの体の仕組みに驚こう 2	藤井 達哉	6	研究室
		3	座学	水圏環境とプランクトン	今井 一郎	17	大津市市民
	20	3	座学	湖の泥に地球の動きを探る 3	柏谷 健二	17	コラボしが2 1
27	1,2	船上	第6回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号	

2021年

1	10	1,2	座学	Wave Pump について 1	熊谷 道夫	6	研究室
	17	1,2	座学	計算機演習 1	藤井 康之 (立命館大)	12	研究室
		3	座学	成果発表会 準備 個別相談会	桑原 雅之 青田 容明	19	コラボしが2 1
	31	1,2	座学	Wave Pump について 2	熊谷 道夫	8	研究室
2	7	1,2	船上	第7回琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	6	はっけん号
	14	1,2	座学	計算機演習 2	藤井 康之	7	研究室
		3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	16	コラボしが2 1
	21	1,2	座学	研究発表練習 1	熊谷 道夫	3	研究室
	23	1~ 3	工場 見学	Zoom 工場見学	エフピコ 中部 リサイクルセンター	33	研究室 各拠点
28	3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	16	コラボしが2 1	

3	7	1,2	座学	研究発表練習 2	熊谷 道夫	8	研究室
		3	座学	成果発表会 準備	中島 拓男 桑原 雅之 青田 容明	10	コラボしが 2 1
	14	1,2	座学	研究発表練習 3	熊谷 道夫	6	研究室
		3	船上	フォローアップ調査	今井 一郎	5	はっけん号
	20	1,2	座学	研究発表練習 3	熊谷 道夫	5	研究室
	21	1,2	船上	第 8 回 琵琶湖調査	熊谷 道夫 桑原 雅之	8	はっけん号
		3	個別	3 期生個別指導	中島 拓男	5	コラボしが 2 1
		4	適性	4 期生応募者一次募集適性テスト①	トラスト 2 名	23	
	26	1,2	個別	研究発表 個別指導	熊谷 道夫	5	研究室
	30	4	適性	一次募集適性テスト②	青田 容明	1	
	28	全 入	発表	成果発表会・修了式	審査委員 8 名 評価委員 4 名	47	スカイプラザ 浜大津

II. 事業活動

1. 湖内調査研究支援事業

(1) 琵琶湖湖底調査：

- ・2019年3月10日から現在まで、びわ湖第1湖盆で水温と溶存酸素濃度の連続観測を行っている。
- ・琵琶湖の固有種であるビワオオウズムシが水温上昇と酸素不足で激減した可能性があることがわかった。2021年1月に水温低下と酸素回復が見られたが、ビワオオウズムシは3個体を確認したにとどまった。今後も回復しない可能性が高いと思われる。

(2) 水草調査

2020年3月から松の木内湖で水草の調査を行っている。農閑期である冬季に地下水が大量に流入していることを確認した。今後、地下水の流入が止まる農繁期の状況を調べる予定である。

2. 森林調査研究支援事業

比良比叡トレイル保全作業

台風などの影響で倒木がトレイル内にあったため、整備を行う。参加者のべ90名
作業場所：大津市伊香立上在地の林道

びわ湖岸マスクゴミ事前調査 10月1日～3日

びわ湖東岸及び西岸 参加者2名

琵琶湖漂着ゴミの回収と分別調査 11月3日

滋賀県高島市 マキノグランドパークホテル裏の湖岸より約1km 参加者45名

3. 環境修復支援および環境保全事業

沖島清掃

新型コロナウイルスのために中止となった。

4. 環境教育事業

(1) びわ湖トラスト親子環境学習講座：親子での体験プログラム。トチノキ・写生は小学生1年生以上、それ以外は小学生3年生以上の親子が対象。夏休みのプログラムは定員超過のため、全て抽選を実施。

会員の方にボランティアスタッフの希望を募る。各イベントで参加いただいた。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、各講座でのイベント定員数を減らし、除菌や検温などの対策を講じた。

①トチノキ観察（於 朽木）

安曇川源流域・高島市朽木の森で実際にトチノキとその周辺の自然を観察。

講師：元グリーンウォーカーカネイチャークラブ代表 青木 繁 氏

- ・第1回 9月19日 ※6月の予定を新型コロナウイルスの影響で延期
- ・第2回 11月7日

②湖岸調査

新型コロナウイルス感染症対応の為、3班制から2班制に変更。午前中で終了。

8月4日 於 O'PAL（大津市雄琴）

2班に分かれて、プランクトン観察、カヌー体験を行う。

③megumi に乗船

環境学習船『megumi (メグミ)』に乗船した学習プログラム。

講義・びわ湖に生息するプランクトンの採取と顕微鏡観察を行う。

講 師：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 一瀬 諭 氏

・第1回 8月 7日 プランクトン観察と講義・沖島散策

・第2回 8月 19日 プランクトン観察と講義・びわ湖大橋米プラザでの散策

(沖島は新型コロナウイルス感染症予防対策で入港出来なかった為)

④ブライアンに学ぶ写生

8月23日 於 びわ湖大橋米プラザ

環境についての講義と写生の手法についての説明・湖辺の写生(講師指導)・講評をいただく。

講 師：ブライアン・ウィリアムズ 氏(風景画家)

(2) 小学5年生～中学3年生対象：『ジュニアドクター育成塾(JST)』

次世代のドクター育成を目指す。5年間の計画3年目。

2年目以降の受講生は個人的な研究を進める。

【一・二期生】(2年目以降) 24名

・講義 全25回

・船上講座 全8回 1名につき2・3回程度

実験調査船はっけん号を用いて行う。

・JSTサイエンスカンファレンス(オンライン開催) 11月19～22日

口頭発表(動画)2名、グループセッション1名 参加

【三期生】(1年目) 24名

・講義 全18回

大学の教授や一般企業の研究職の方を講師として座学を実施。

・船上講座 全6回

実験調査船はっけん号を用いて行う。

・野外学習 1回

河川の魚観察

【一～三期生合同】

・ソーラーボート大会 先端技術部門参加 8月9・10日

希望者を募り、定員を決めて8月8日～10日まで(2泊3日)合宿を実施。

大会での結果は100W級で優勝、準優勝。

・工場見学(エフピコ株式会社 中部リサイクルセンター) 2月23日

トラストの会員を交えてリモートでの見学を実施。

・成果発表会 3月28日 一～三期生 47名 評価・審査委員 12名

感染予防対策を万全にして実施。

(3) 高校生プログラム 8名：東レエンジニアリング株式会社

高校生を対象とした環境教育事業。

・ソーラーボート大会 先端技術部門参加

ジュニアドクター育成塾の塾生と共に参加。

5. 情報交流事業

びわ湖トラストの集いは新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて、中止。

6. 目的を達成するために自己体質の強化を図る事業

(1) 会員向け発行誌『びわ湖トラストたより』 2回発行。

(2) 環境教育活動では、小学生親子対象の単発イベントについては、県や市が案内配布するチラシやホームページに掲載すると共に、大津市教育委員会の後援を得て、市内の小中学校数校に配布。ジュニアドクター育成塾でも県や県内の市と京都市の教育委員会の後援を得て活動・PRを行った。

7. 緊急時の対応

地震などの急な災害の場合は随時対応する。新型コロナウイルス感染対策として、ジュニアドクター育成塾の受講生を中心とした健康チェックを実施している。

8. 第1項の各事業を支援するための事業（定款第5条第1項）

各種事業等は随時助成金・寄付金を募り、特定非営利活動のみに活用。
一般管理費は会費収入で賄う。

(1) 通常総会 → 書面総会（出席者 5名）

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していた為、急遽書面総会を実施。

定足数を満たすための最小人数出席候補者と書面および委任状による表決方式で実施。

日 時： 5月25日（土） 14時00分～14時40分

内 容： 前年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、理事就任退任、
本年度の事業計画（案）、収支予算計画（案）の承認

(2) 定例理事会 月1回 17時半から約2時間、大津港 会議室など

9. 特別会計

はっけん号の運行

湖内調査研究支援事業・環境教育事業に 合計19回活用。